

平成 24 年 6 月 27 日

各位

会社名 アンジェス MG株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 代表取締役副社長 村山 正憲
電話番号 03-5730-2480

バイオリダーズ社との子宮頸部前がん治療ワクチン(CIN 治療ワクチン)の ライセンス契約を締結

当社は、韓国の BioLeaders Corporation (以下、バイオリダーズ) と子宮頸部前がん治療ワクチンについて国内外の開発、製造、使用および販売の独占的実施権許諾に関するオプション権について基本契約をしておりましたが、この度、中国における開発、製造、使用および販売の独占的実施権許諾に関するライセンス契約に合意しましたのでお知らせいたします。

子宮頸がんの原因ウイルスであるヒトパピローマウイルス(以下、HPV)の感染者は世界で 3 億人以上と言われ、約 10%が前がん病変の初期段階に移行し、その後、子宮頸部上皮内腫瘍性病変(CIN)と進むにつれ HPV のがん関連蛋白質(特に E7)の発現が増加し、前がん病変の後期である高度異形性(CIN3)からは 30-40%が子宮頸がんに移行すると言われています。

当社が開発する CIN 治療ワクチンは、HPV の E7 蛋白質に対する特異的な細胞性免疫を子宮頸部へ効率的に誘導することで子宮頸部の高度異型性を消失させ、子宮頸がんへの移行を回避できる画期的な世界初の治療ワクチンとして期待されます。現在、国内では、東京大学医学部産科婦人科学の川名敬講師(同大学病院女性外科病棟医長)の下で探索的臨床試験が実施されており、良好な結果が得られております。

子宮頸がんの前がん病変から上皮内がんに移行する年代のピークは 30 歳前後で、結婚や出産を経験する年代に相当します。現在、前がん状態を治療する薬剤がなく、主な治療方法として子宮頸部円錐切除術が実施されておりますが、手術による早産、低出生体重、帝王切開のリスクが高まることが指摘されていることから、この手術の回避が可能になる本治療ワクチンの早期実現が期待されます。

子宮頸がんの前がん病変の後期(CIN2-3)の潜在的な罹患数は、米国で 10-15 万人、日本で 7-10 万人、中国で数十万人と推定されており、今後、中国の患者様の QOL(Quality of Life)の向上を目指し、本プロジェクトの開発を積極的に進めて参ります。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

【ご参考】 会社概要

社名： 株式会社バイオリダーズ BioLeaders Corporation

本社： 大韓民国大田広域市儒城区龍山洞 559 番地

代表者： 代表取締役社長 成 文喜

設立： 2000 年 1 月 1 日

資本金： 36.5億ウォン

事業内容： 医薬品開発、機能性素材の開発・販売